

赤十字 茨城



桜のまつり、
赤十字PR!!

平成 18 年 4 月 30 日、那珂市静峰公園で八重桜まつりが開催され、那珂市赤十字奉仕団 (25 名)、県立常陸大宮高等学校 JRC 部 (13 名) とともに、赤十字の PR 活動を行いました。

この日は、天候もよく多くの方々が来場されていたこともあり、奉仕団の方々が作った非常食は約 500 食を配布しました。JRC のメンバー達は、アジアの子どもたちに対する募金活動 (アフガニスタン、フィリピン、モンゴル、ネパール、バングラデシュの子どもたちに文房具等を送るため) を行うほか、来場した多くの子どもたちに風船を配りました。

地域奉仕団と青少年赤十字 (JRC) の世代を超えた交流が図られ、赤十字ならではの活動となりました。



第55回 利根川水系連合水防演習

第55回利根川水系連合水防演習が5月20日(土)、利根川河川敷取手市緑地公園にて国土交通省・茨城県などの主催により開催されました。

今回の演習は、豪雨災害に対する地域防災力の向上を目的に水防団、自主防災会、自衛隊、警察、消防、日本赤十字社茨城県支部など約2万2千人



が訓練に参加しました。

当支部が参加した演習では、利根川が増水・氾濫し、民家やビルに取り残された住民を自衛隊・消防・警察が救出し、日赤救護班が救護するという想定により実施されました。

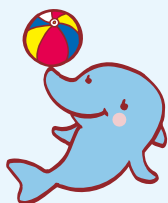
演習は本番同様、緊張感のある中で各機関が連携を取りながら行われ、当支部救護班要員や防災ボランティアリーダーも日頃の訓練の成果を発揮し、迅速かつ正確な救護活動を実施することができました。

また、この他に救急法奉仕団による救急法ミニ講習やAEDの体験及び取手市赤十字奉仕団による非常食炊き出しが行われ、行列ができるほど盛況でした。

日赤乳児院では、

毎月季節に合った様々な行事を

子どもたちと一緒に楽しんでいきます。



4月27日は“春の小ピクニック”で大洗水族館へ行ってきました。子どもたちは朝の着替えからお出掛けするのが分かり、ウキウキしていました。館内では沢山の魚を見つけると「おさかな! おさかな!」と大喜びで走り回り、イルカショーではダイナミックな演技に圧倒されながらも、大歓声をあげ夢中で見入っていました。

保護者(保育者)と一対一で接し、外出するという、集団生活をしている子どもたちにとっては貴重な今回の経験の中で、子どもたちは伸び伸びと行動し、笑顔も沢山見せてくれました。私達保育者も、子どもたち一人ひとりの可愛らしさを再発見でき、共に楽しい一日を過ごすことが出来ました。

これからも子どもたちに様々な体験をさせてあげられるよう、そして日々の保育が充実するよう心掛けていきたいと思えます。



プルタブ回収で車椅子を寄贈

旧県立大子第二高等学校 JRC 部代表 川澄 恵美

私は、車椅子の原材料となるアルミ缶やプルタブを回収するという活動を知り、とても興味を持っていました。

この活動を始めたのは、高校1年生の時の文化祭からです。パンフレットや校内だよりで活動を紹介し、回収協力への呼びかけを行いましたなかなか活動は進みません。回収できたプルタブやアルミ缶は、洗い乾かし計量と、軽い気持ちではできない活動だと実感しました。高校2年生の夏に、JRC 県トレセンに参加した私は、中途半端になっていた回収活動を活性化させたいと思い具体的な計画をたてました。まず考えたのは、自分の学校だけではなく、地域にも活動範囲を広げることです。トレセンで知り合った仲間や、近隣高校、最寄の駅にパンフレットや回収箱を設置させていただきました。すると、わざわざ学校に持参して下さる方、宅配で届けて下さる方（水戸在住の方からも届きました）もおられ感激しました。

お蔭様をもち、平成18年2月に車椅子を福祉施設に寄贈することができました。地道で長い道のりである活動でしたが、私達の学校は3月一杯で閉校するため、大子二高 JRC 部としては、最後の活動となりましたが、私達メンバーにはいつまでも思い出に残ることと大きな達成感を味わうことができました。ご協力いただいた沢山の方々の支えに感謝しております。ありがとうございました。



かすみがうらマラソンのボランティアに参加して

いぶきの会代表 県立竹園高等学校 坂倉 明恵

毎年4月に開催される「かすみがうらマラソン」は、全国から1万人以上の参加者が集まる、人気の高いマラソン大会です。*いぶきの会では、7年前から出場選手の荷物を預るボランティアを続けています。今年は、5校から54名のJRCメンバーが会場に集まりました。

レース前、8千人近い選手の荷物を預り、ゼッケン番号順にテニスコートに並べていきます。レースが終わると、選手達が疲れた足を引きずりながら、続々と帰ってきます。

ボランティアは選手のゼッケン番号を即座に確認し、広いコートの中から選手の荷物を探し出してすばやくカウンターに届けます。チームワークが必要とされる活動だけに、熱が入り、自然と連帯感も生まれてくるので、その日初めて出会ったメンバーともあっという間に打ち解けることができました。



「お疲れ様でした！」と声をかけて荷物を渡すと、選手も「ありがとう。」と笑顔で応えてくれ、その瞬間に、それまでの疲れも吹っ飛んでしまいます。JRC活動の中でも、かなり体力を必要とするボランティアですが、その分、終えたあとの達成感は大きいです。今後もいぶきの会のメンバーの団結の場の一つとして、活動を続けていきたいと思います。

*いぶきの会：県南地区 JRC 高校生連絡協議会の愛称



患者様相談窓口設置のご案内

平成18年4月より、水戸赤十字病院ではリニューアルしたりニアック棟内に患者様相談窓口として「医療安全推進室」を設置し、専従の医療安全管理者による相談、支援等を開始しました。

この「医療安全推進室」では、医療安全の全般に関する相談に対応しています。

相談される方の個人情報保護には十分留意をさせていただきますので、ぜひご利用ください。

なお、受付時間は平日が10時～12時及び13時～15時、土曜日が10時～12時となっています。

1. 相談場所 医療安全推進室（リニアック棟内）
2. 相談時間 平日 10:00～12:00、13:00～15:00
土曜 10:00～12:00

（第2・4土曜日、日曜・祝祭日、5/1創立記念日は休み）

*相談される方の個人情報の保護等に留意して対応させていただきます。

水戸赤十字病院 医療安全推進室

問い合わせ先 ☎ 029-221-5177



海老澤幸子 CSM



満川元一
医療安全推進室 室長

* CSM…「チーフ・セフティ・マネージャー」の略。医療安全に係る専門の研修を修了した専従の医療安全管理者

平成18年4月から左記のとおり医療安全管理者による医療安全に係るご相談の対応・支援をしております。



中高生のための赤十字短期講習会

| 日時 | 8/21 (月) | 8/22 (火) | 8/23 (水) |
|--------------|---|--------------------------------------|---|
| | 10:00～15:00 | 10:00～15:00 | 10:00～15:00 |
| 講習内容 | 救急法 | 家庭看護法 | 幼児安全法 |
| 内容 | とっさの時の 応急手当・救命手当 三角巾包帯法・ 心肺蘇生法 | 介護の基本 ～入門編～ 車椅子の介助・ 食事の介助など | こどもが 事故にあったら… こどもの心肺蘇 生法・異物除去法 |
| 会場 (電話番号) | 水戸市小吹町 2551 日赤茨城県支部 ☎ 029-241-4516 | | |
| 定員 | 25 | 25 | 25 |
| 申込先 | 日赤茨城県支部 *申込時間 平日9時～17時 | | |

※上記の日程は対象を中学・高校生に限らせていただいています。
この他にも講習を予定しております。詳細はお問い合わせ下さい。

「フィリピン地滑り災害救援金」 へのご協力

ありがとうございました

この度、生活協同組合ハイコープ様より1,388,260円を、フィリピン地滑り災害救援金としてご寄付いただきました。このお金は、救援物資の配布や保健サービスの提供のために活用されます。

約1ヶ月間という短い募集期間でしたが、たくさんの方にご協力いただき誠にありがとうございました。

発行所 日本赤十字社茨城県支部

〒310-0914 水戸市小吹町 2551 TEL (029) 241-4516 FAX (029) 241-4714 URL <http://www.jrci.jp/>